

会 議 録

日 時	平成 26 年 8 月 20 日 (水) 午後 1 時 30 分～午後 2 時 45 分
場 所	本庁舎 3 階 第 2 委員会室
会議名	第 3 回大垣市新庁舎建設基本構想策定委員会
内 容	1 市行政を取り巻く状況について 2 基本理念、基本方針(案)について 3 その他
出席者 (敬称略)	(委員)【計 12 名】 高木朗義、竹内治彦、吉田茂樹、小倉利之、竹中昌子、堤俊彦、長瀬ちえ子、名和哲彦、橋川実、松本正平、池田繁行、松口小夜子 (市)【計 5 名】 川合幸典(総務部長)、奥村公彦(庁舎建設推進室長)、安田佳樹(庁舎建設推進室主幹)、小川健志(庁舎建設推進室主査)、杵島智史(庁舎建設推進室主事)
欠席者	(委員)【計 2 名】 松永大介、高田美穂
傍聴者	6 名
事務局	皆さん、こんにちは。 定刻となりましたので、ただいまから大垣市新庁舎建設基本構想策定委員会の第 3 回会議を開催いたします。 本日は大変お忙しい中をお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。 では、竹内会長により司会進行をよろしくお願ひします。
会長	はじめに、本日は、松永委員さん、高田委員さんが所用により欠席されております。 本日の傍聴についてですが、本日、傍聴を希望される■■■■の■■■■他5名がいらっしゃいますので、ご着席いただきます。 それでは次第に沿って進めさせていただきます。本日の議題は 2 議案です。前回では、市役所の利用状況を踏まえ、新庁舎の機能について皆さんからご意見をいただきました。 今回は、行政の各種計画や今日までの取り組み、今後の動きを説明してもらった後、基本理念、基本方針について私と事務局とでまとめましたので、その内容を皆さんと協議し、最後に、次回予定しております先進地視察について説明を受けたいと思います。 では、早速ですが、「議題1、市行政を取り巻く状況について」事務局より説明をお願いします。

事務局

1ページ、資料No.1をご覧ください。

第1回の本委員会におきまして、大垣市第五次総合計画や他の個別計画における、理念や目標を参考にしたい旨の、ご提案がございましたので、新庁舎との関連性を踏まえて、まとめさせていただきました。

上段の枠の中が、総合計画になりますが、安全安心で、市民と行政が連携・協働し、子育て日本一のまちづくりをめざす、理念となっております。

その下の個別計画は、主なものを総合計画の体系別に分類したものでございます。

「都市基盤」では、「庁舎周辺の景観やみどりなど」を考えるうえでのキーワードといたしまして、「水都大垣の水」、「市民が誇りを持てる大垣らしいまちづくり」、「みどり豊かな環境」、「水とみどりの拠点」、そして、「ICTの利活用」であると考えております。

次の「産業振興」では、新庁舎建設場所が、「中心市街地活性化基本計画」の区域内に位置しており、観光客などの来街者や、商店街などとの連携・共存による、「にぎわい創出」がキーワードとなると考えております。

さらに「生活環境」といたしましては、「防災拠点施設整備」や「環境にやさしいまちを」目指し、「福祉」では、一人ひとりが住みつづけたい、ぬくもりのまちづくりの拠点となる、新庁舎を目指してまいります。

最後に「人づくり、市民協働」ですが、安心して子育てができ、多くの市民活動支援の拠点となる新庁舎とすることが、大変重要であると考えております。

以上、本市が目指す将来の都市像について、ご説明いたしました。

続きまして、「今日までの取り組み」としまして、主な市民サービスなどについてご説明いたします。

2ページには平成19年までを、続く3ページには平成20年以降についてまとめたものでございます。

「窓口関係」では、平成10年4月に、機構改革によりまして、市民及び税の窓口を設置し、平成12年7月には岐阜・西濃地区の20の市町で、証明書の交付を可能といたしました。

平成20年1月には、窓口サービス課を設置し、総合窓口を開設、窓口コンシェルジュを配置いたしました。

「サービス関係」では、平成15年8月に住民基本台帳カードの発行を開始したほか、コンビニエンスストアでの市税や水道料金等の納付をできるようにし、昨年10月からは、全国のコンビニエンスストアで、各種証明書等の発行が可能となっております。

平成19年1月には、市内6箇所にも土日祝日も業務を行う市民サービスセンターを開設し、当初に比べ、平成24年度の利用者は8,959人増加しており、サービスセンターのご利用が市民の方に浸透してきております。

その一方で、前回の委員会でご質問のございました「本庁に訪れる方が以前と比べ変化しているか？」につきましましては、本庁においての「戸籍謄本、住民票、印鑑証明」の合計交付件数が、平成20年度の129,240件に対しまして、平成24年度は、104,422件となっております。年度にばらつきはあるものの年間約24,800件、19.2%減少してきており

	<p>ます。</p> <p>こうした中、国の政策や権限移譲による変化も重要でございまして、高齢者の介護問題に対応する「介護保険法」、みんなで支える「障害者自立支援法」、阪神淡路大震災を教訓とする「耐震改修促進法」などが施行され、こういった分野では、本市におきましても、事務量や職員数が増大しておりますが、一方で、行政改革などを行い職員数の適正化に努めているところでございます。</p> <p>続きまして、今後の行政を取り巻く動き、予測になりますが、4ページをご覧ください。大垣市の人口は、平成17年の162,070人をピークに減少してきており、将来推計では、国立社会保障・人口問題研究所によりますと、平成52年には、133,203人になり、ピーク時に比べ約17パーセント、28,000人の減少になるとされております。</p> <p>5ページの年齢3区分別人口推計をご覧ください。</p> <p>今後は、年少人口や生産年齢人口が減少していく一方で、老年人口は増加し、平成52年の高齢化率は、平成27年に比べ8ポイント上昇していき、更なる高齢化が進んでまいります。</p> <p>今後の市民サービスが大きく変化する要因といたしましては、社会保障・税番号制度、いわゆるマイナンバーがございまして、</p> <p>内閣府の最新資料から、ご報告させていただきます。6ページと7ページをご覧ください。平成27年10月から、全国一人ひとりに個人番号が通知されます。その後、平成28年1月から年金、医療保険の手続きや確定申告などの行政手続きでの利用がスタートいたします。これによりまして、市役所での諸手続きは、減少し、効率化していくものと想定しております。</p> <p>以上長くなりましたが、市行政を取り巻く状況についてご説明させていただきました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>前回の会議でのご質問を受けまして、ご説明をいただいた訳ですが、ご意見やご質問はございますでしょうか。</p>
委員	<p>不勉強で申し訳ないですが、総合計画だとか個別計画というのは、どれ位のスパンで想定されているのか教えていただけますか。</p>
事務局	<p>総合計画については10年スパンで、前期・後期に細かいところが分かれております。個別計画につきましてはそれぞれでございまして、物によって変わってくるということでございますので、一概には言えません。</p>
委員	<p>基本的には総合計画があり、それを受けて、各個別計画がある。総合計画が変わるといふか、次の総合計画になると、またそれを受けて、という感じでしょうか。</p>

事務局	総合計画は最上位計画という位置付けでございます。
委員	分かりました。ありがとうございます。
委員	今の5次総の中の都市基盤から市民協働までのポイントとなるキーワード、それを中心に、新庁舎を建てた場合に関係のある部分を記述した表がこれ(資料No.1、1ページ)だということですね。例えば産業振興だと、中心市街地以外にもたくさんありますが、特に新庁舎を建てる場合に影響する部分を並べてあると理解してよろしいですか。
事務局	はい、それで結構です。
委員	マイナンバー等で市役所の業務が効率化されるという話の前に、ここ数年で、例えば自立支援法等で、市役所の業務が増えたということも、もう一度教えていただいてもよろしいでしょうか。
事務局	今言われた自立支援法が新しく施工された法律のひとつであるということとか、他には耐震の関係で、耐震改修促進法であるとか。
事務局	2ページを見ていただきますと、平成12年4月に介護保険制度が導入されて、そういったこともありますし、障がい者関係ですと、「精神」とかそういったものが、市町村に降りてきています。あと、建築関係でも、県からいろいろと降りてきています。
事務局	建築基準法というのは権限移譲ではございませんが、それなりの規模になってきますと、手を挙げたという訳ではありませんが、そういう意思を持ってやり始めたということもございますし、建築確認をやり出しますと、いろいろな付随する法律がありまして、例えばハートビル法であるとか、今だとバリアフリー新法と呼んでいますし、それに匹敵する条例が、岐阜県福祉のまちづくり条例であったりとか、省エネルギー法であったりとか、様々な法律が付いて回ってくるということで、事務が増大してきているということがございます。
委員	医療関係のことが少ないので、医療関係について言うと、介護保険に関する相談について、島(部署)ができていることもあり、同じような傾向があります。
会長	窓口の業務としては増えるが、全体的にはコンビニで簡単に、という部分もありますし、人口そのものも減少しているということで、ある程度の該当者数予測としては、1割以上は将来的に減っていくであろうという見込みという所ですね。
事務局	本庁舎での窓口の証明とか、そういった関係、或いは交付は減っていくかと思えます。ただ、届出とかそういうものは、やはりこちらへ来るという意味で、変わらないところもあると思えます。

会長	<p>簡単に整理すると、証明書発行であるとかそういった業務というのは、わざわざここに来なくとも、という風になっていって、話し合いをしなければならない業務というのは減らない方向にあって、ある程度そういうものについてのスペースは確保していかなければならないという整理になるかと思います。</p> <p>5次総は、2017年までで、2018年からは6次総を作られる予定ですよ。今、法律上は作らなくてもいいと聞いていますが。</p>
事務局	<p>総合計画は、議会に出して議決とか、非常に重いものでありましたけれども、総合的な計画につきましては、従前通り続けると考えています。</p> <p>あと、先程の個別計画でございますが、総合計画が一番上位の計画であるのは確かでございますし、それぞれ国からのいろいろな法令等によりまして作る計画等が、縦と横の関係で整合が取れるように表しておりまして、そのうち、庁舎に関するものを抜き出させていただきました。</p>
会長	<p>関連する状況等について、説明をいただきました。よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(質疑なし)</p>
会長	<p>では、次に「議題2、基本理念、基本方針について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>8ページをお願いいたします。</p> <p>前回の委員会におきまして、新庁舎の機能について、皆さまから頂きましたご意見をまとめさせていただくとともに、基本方針を竹内会長と調整させていただき、たたき台を作成いたしました。内容につきましては、会長よりご説明いただき、ご審議のほどよろしくをお願いいたします。</p> <p>なお、9ページには、参考に、本市と人口が同規模の先進地の基本方針等一覧表を添付しております。</p> <p>以上簡単ではございますが、説明を終わらせていただきます。</p>
会長	<p>基本機能については、前回お渡ししたところで、ある程度書かれています。が、「窓口サービス」、「環境配慮」、「市民参画・協働」、「防災」、「執務」、「まちづくりシンボル」という形になっています。それから基本方針としてそれらをまとめまして、「利用しやすく人や環境に優しい庁舎」、「防災拠点となる安全安心な庁舎」、「経済的で長寿命に配慮した庁舎」、「みんなが集い、支えるシンボリックな庁舎」というふうにまとめていただきました。それで、基本理念についてどうするかということで、9ページをご覧くださいますと、他市の例が挙がっているのですが、実は基本理念については、決めているところと決めていないところがあります。ですから、基本方針があれば、決めなくてもいいのかなというところでしたが、これまでのこの会議での委員の皆さんのご発言からも、基本理念のようなものを決めたいというお考えもありましたし、それから、やはり大きな事業を進めるということで、市民等の皆さんに対して説明していく上でも、なるべく</p>

	<p>コンパクトに表現できるものがあった方がいいのではないかと考えてみました。それで、他市を拝見すると、立川市さんは「市民の知恵と力を結集し、スリムでやさしく美しい市民自治の拠点づくりを！」ですが、率直な感想として、もう少しコンパクトでもいいかなと思いますし、刈谷市さんは「市民にわかりやすく親しまれる庁舎」ということですが、この内容で何を打ち出しているのかと考えたとき、「利用しやすい」というところがひとつあります。</p> <p>防災については、南海トラフ等の地震が想定される今の日本の中で求められる、安全安心の防災機能は当然ある訳ですが、突出して何か、他所よりもそこを強く考えている訳ではないのかなと思います。それから、「経済的で長寿命」というところですが、これも重点を置くところではないのかなということで、「利用しやすく人や環境に優しい庁舎」と「みんなが集い、支えるシンボリックな庁舎」というところだろうと考えました。刈谷市さんの表現とあまり似ていてもという議論もありますし、市民感覚というところがキーポイントかなということで、「市民の集う庁舎」としました。</p> <p>公園というお話もありまして、ご検討をいただいておりますように、公園と駐車場を入れ替えて、反対側の駐車場までのブリッジを掛けて、庁舎の前に芝生の公園が広がるというのは無理ではないそうなので、それも悪くはないかと思えます。そうすると、窓口で書類発行の用事があってもなくても、集っていただいたり、或いは地域づくりや福祉関係等で、集まって話し合いをするというようなことを含めて、「市民の集う庁舎」という簡潔な表現でご提案させていただきました。いろいろな言葉を付加するのも一案ですが、原案としては、これ以上、縮めようがないくらいで、ご提案をさせていただきました。</p> <p>以上の内容でございますが、ひとつひとついってもなかなか上手くいかないと思えますので、ご意見ございましたらどこからでもお願いします。</p>
委員	<p>基本的にはボトムアップの形でいろいろと考えられてきたと思いますが、言葉ができてしまうと、それが一人歩きしてしまうことがあって、基本理念に「集う」という言葉が入っていると、その「集う」ということだけがクローズアップされてしまう懸念もあります。もちろん、ここにいろいろな方が集うのはいいですが、もう少し緩やかな表現でもいいかと思いました。例えば、ある意味思いつきに近いです、「市民に親しまれる庁舎」くらいのニュアンスでもいい気がします。もちろん、いろいろと説明をすれば、「集う」という意味が理解できると思いますが、いろいろなところに出てくる言葉としては、「集う」という言葉が過大に期待をされ過ぎると思えます。</p>
会長	<p>基本理念については、基本方針等の議論もありますし、結論は最後にしたいと思えます。他にご意見がございましたらお願いします。</p>
委員	<p>市民「の」ではなく、市民「が」の方がいいのではないかと思います。「集う」はいいと思います。</p>
委員	<p>私も、「が」の方がいいと思います。</p>

委員	私は、「市民の集う」がいいと思います。奥行きがあって、いろいろなことが連想できていいなと思いますから。
会長	やはりこういうフレーズは結構大事で、基本方針や機能の部分をいろいろ議論しても、基本理念の一言の表現が意外と大事かも知れないという意味で、しっかりと決めないといけないですね。今、ご意見として「市民に親しまれる庁舎」と「市民の集う庁舎」と「市民が集う庁舎」の3つを協議していくという状況で、他を議論した後、最後にまた戻ってきて、3案出ている中でお諮りさせていただくこととします。 では、(8 ページの)一番右に立ち戻りまして、基本機能について、前回からの延長ですが、何かご意見ございますか。
委員	「窓口のワンストップ化を目指し、フレキシブルな窓口配置に努める。」とは、どういうことでしょうか。
会長	では、「フレキシブルな窓口配置」はどこまで可能かということを含め、事務局より説明をお願いします。
事務局	ワンストップ化ということで、皆さんもイメージがあると思いますが、ひとつは固定の窓口です。ここは戸籍、ここは医療というような固定ではなく、その来庁者の種類や人数に応じて、席の役割を変えるとというのがひとつの手法と思っています。他には、間仕切りのない、物理的に組織替えがしやすいということもイメージしております。
事務局	需要に応じまして、窓口が混んでいたら、こちらで受付をすとか、可動性があるという意味合いも含んでいます。
会長	特定の窓口が混んだら、隣の窓口が対応可能ということですね。
事務局	あと、制度が変わりましたら、柔軟に動けるように固定しないというようなイメージがあります。
委員	事務局のお話ですと、窓口配置ではなく、窓口対応になります。だから、ワンストップ化ということと、フレキシブルな窓口云々ということを併列してあるので、誤解を生じるのではないかという質問の意図に聞こえました。
会長	窓口のワンストップ化と言いますが、言葉として窓口は「ワンストップ」ではない気がしますね。最近、実家の市役所に行った際、入り口でコンシェルジュ的な方に「これはどこに行けばいいですか？」と伺って、「〇〇課〇番窓口です。」と言われてそこへ行って、そこで番号を受け取ってご対応をいただきました。多分これがすごく一般的な形だと思いますが、ワンストップ化というと、そこで全部受けますよという形になりますよね。まず、それが可能かということ。それから、窓口配置でフレキシブルにはならない

	から、フレキシブルな窓口対応に努めるという表現に変えた方がいいですね。
委員	ワンストップ化と(フレキシブルを)並べているから、ややこしくなるのではないですか。区切ってしまった方がいいのでは。
会長	区切るとしても、ワンストップ化は実際目指せますか。
事務局	できるだけ関連があり、お客様の多い事務については1箇所集中させるというのが、総合窓口と考えますが、私どもの採ったワンストップ化の最初的手段であり、今の窓口サービス課の形態でございます。あとは、「目指す」という表現で書いていますので、目標と言う意味合いも多分に含んでいます。全ての人が満足するワンストップというのは、なかなか奥行きが深くて、100%の対応がしづらいので、できる限りその時々に応じて、需要を見極めながら、できるだけの方の満足を高めるという意味合いで、この「目指す」という表現を使っております。
会長	大学なんかですと、教務部とか学生部があつて、建物を建て替えて、同じフロアの中で学生があちこち行かなくても、全てサービスが済むようにした方がいいという議論はあり得るし、そういうことをしている大学もあります。ですが、市役所の業務内容はかなり範囲があつて、専門性が高くて、ワンストップ化を実際にしようとする、おそらく困難だと思います。
委員	(基本機能で)「各種手続き等にかかる時間の短縮、臨時窓口の増設など、利用しやすい窓口配置を目指す。」とここで言っていますが、最後にまた「窓口のワンストップ化を目指すし…」となると、利用しやすい窓口配置を目指すと言っておきながら、ワンストップ化を目指すというのはちょっと。前者を消して、「フレキシブルな窓口配置」だけでもいいと思います。
委員	1ヶ月程前に、他所の小さな役場に行く機会がありましたが、そこでワンストップ化というものになるのか分かりませんが、入ってすぐに低いカウンターがあつて、住民課とか札があつて分かれていたのですが、そこに座って、いろいろな手続きを一度にできました。あちこち動かなくても、係の方が対応する内容によって交代して対応してくださって、緊張しなくてよかったですと思いました。そういう柔軟な対応の仕方をすれば、そういうこともできるのではないかと思います。
会長	ある程度、規模が小さいとできるというところなので、「窓口のワンストップ化を理想とし、フレキシブルな窓口対応に努める。」とかそれくらいに。実際に、大垣市の規模と専門性の中で、今回ある程度既設部分を一部解体して新庁舎を作っていくとしたら、そんなに広い面積ではないので、1フロアだけでは対応ができなくて、2~3フロアで市民の皆さんに対応するようなお話もしていました。そうすると、そもそも階が違うのにワンストップも何もないようなところがあつて、類似のものを集めるといっても、やは

	<p>りそこには限界があるのではないかと思います。多分、肝の部分は「フレキシブルな窓口対応」というところなのかと思うので、記述いただくとしたらそこがポイントかと思いました。また、文言はあとで市の思いを含めて記述するとして、次回までには調整したいと思います。</p>
委員	<p>障がい者があちこち動くことなく、その場で手続きが済むようにということをお願いしたいです。</p>
委員	<p>障がい者の方についてだけでなく子連れの親子が来ても、あちこち行くのが大変ですので、そういう対応があったらいいと思います。</p>
会長	<p>窓口配置とかの話ではないということですね。物理的に窓口が配置されている訳ですが、ある一人の方がみえて、いくつかのニーズがあったときに、その人が渡っていくのではなく、市の担当の方がその方に寄ってくるような対応も考えているということ表現できればいいと思います。</p>
事務局	<p>今現在も、窓口サービスで戸籍、例えば出生届を出す方ですと、戸籍を作り、さらに国保の関係があり、医療の関係もありますが、これを我々の窓口ですと、②番・③番・④番の窓口で、他の市であればひとつずつ行かなければならないところを職員が動いて対応する形を採っています。今おっしゃるような、これを継承していき、さらに今おっしゃったように、障がい者の方ですと、社会福祉へ行かなければなりません。すると、今度は中央のロビーの前を通って行かなければならず、介護ですとさらに奥へ行かなければならないという不便を強いられています。さらに、子育ての方は2階へ、ということもありますので、どこの市を見ても、今後この辺りを課題として考えていかなければならないと思います。だから、配置という部分で考えるのがまずは一番重要と考えています。すべてワンストップというのは、会長のおっしゃるとおり、理想ではありますが、大垣市の行政の中で 100%すべてひとつの課で賄うサービスを提供するのは無理かというところは確かにあると思います。大きければ大きいほど難しくなるというのが、現状としてはございます。</p>
会長	<p>フレキシブルな窓口対応というのが、配置の部分と対応の部分に分けてそれぞれ記述させていただくということで、「目指す」という表現で行くどうかは後で調整をさせていただいて、次回、載せていきます。それでよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、結構です。</p>
会長	<p>では、ご意見を踏まえた上で、どこまで具体的に書き込んでいいのかというところで、調整させていただきます。また、順番も窓口の部分が飛び飛びであったので、少し並べ替えた方向で調整したいと思います。</p>

委員	「環境配慮」の中の「長寿命化に配慮する。」ですが、具体的にどのようなことに配慮するのでしょうか。
事務局	これは、建物の長寿命ということを主に指しておりますが、例えば構造体がコンクリートですと、現在では60年とか65年と言われていますが、質を高めることによって、80年、100年というようなコンクリートも現在は可能となっております。例えばこういったことであるとか、他には設備系ですね。どうしても建物の構造体以上に、設備系の給水管であるとか換気ダクトが、早く傷んでしまいます。これらを取り替えやすいということもひとつ、長寿命化の一環であると考えておまして、主には建物に関する長寿命化に配慮して建てていくという意味合いでございます。
委員	前段に、何のためというのが欲しいですね。
会長	何のためというと、コストパフォーマンスですので、左の文言に近付いてしまいますが、「経済性を考慮し、」とかそういうことでしょうか。 今、環境配慮のところでご質問がありましたが、他によろしいでしょうか。
各委員	(質疑なし)
会長	市民参画・協働について、ロビーと交流スペースと市民も利用できる食堂・売店のところですが、市民の皆さんもひょっとして市の職員さんと会議というか、地域ごとの公民館等を利用して、職員が出向くこともあるでしょうが、市民の皆さんも利用して、職員さんと一緒にここで会議をするというのもあっていいかと思うので、会議室等のスペースがゆったり目にあつた方がいいと思います。会議室は他に使い道もあると思うので、「会議室のスペースを十分取れるように努める。」とか、そういうものも市民参画・協働ではあっていいかなと思いました。
委員	関係ないかもしれませんが、以前の男女共同参画の審議会では、男女共同参画センターというものを設置して欲しいとの要望を審議会として出しました。そういうものもこの中に入ってくるかなと思うのですが。
会長	そこまで具体的には記述しにくいですが、会議室等は職員の会議や審議会だけでなく、少し緩やかなルールの中で設置してもいいのかなと思いますね。
事務局	会議室等につきましても、例えば休日に使うとか、選挙の時には平日の夜間でも入れるようにということで、安全性と利便性を両方兼ねた会議室を1階に設けたらどうかと考えています。

会長	<p>そういうご検討があるということなので、「市民参画・協働の場としての」というものを入れるかはともかくとして、会議室等のスペースを十分に確保するというを加えていただけたらと思います。</p>
委員	<p>「執務」の機能に、「将来的な社会変化に対応できるユニバーサルデザインを検討する。」という言葉があるのですが、例えば外国人の方も含めて、いろいろな市民の方がいるということで、ユニバーサルデザインということになるので、これはどちらかといったら、「市民参画・協働」の方だと思うのですが。</p>
会長	<p>これは多分、市役所でお勤めの皆さんのためのユニバーサルデザインという意味合いだと理解しましたが、どうでしょう。</p>
事務局	<p>これは前回、ロボットも結果的にユニバーサルデザインの、段差がない、人が使いやすいということに通ずるところがあるのご意見がありましたので、それをまとめたという意味合いもございまして、「執務」という括りに入れた訳です。人も働きやすく、ロボットの助けも得やすい、という意味合いでこの分類になっておりまして、おっしゃるとおり、職員のためだけではございませんので、そのお考えもあろうかとは思っています。</p>
会長	<p>「窓口サービス」のところがいいのか、ここがいいのか考えると、多分「執務」でない方が良さそうですね。「窓口サービス」か「市民参画・協働」のどちらかに入れるということで。「窓口サービス」だけに限定しないで、「市民参画・協働」に入れた方がいいかと思います。ただ単純に、「窓口サービス」のボリュームが大きいというのもあるので、バランスからいってもそうさせていただければと思います。</p>
委員	<p>ユニバーサルデザインは、「特に」ということではなくて、庁舎全体に通ずる考え方ですよね。例えばユニバーサルデザインだったり、ICTだったりいろいろなものがあるとは思いますが、基本的なものは一括りにした方がいいと思います。</p>
会長	<p>基本方針で行くと、「利用しやすく人や環境に優しい庁舎」というふうに、これは箇条書きにした機能をまとめて、方針へ反映されているので、そういう形でご理解をいただけたらと思います。ユニバーサルデザインはひとつの機能ではなくて、いろいろな機能に対してそういう思想で、ということになると思うので、できれば基本方針で記述していけばいいと思います。</p>
事務局	<p>例えばの話で、今こうして「窓口サービス」とか書いてありますが、それを全体に共通するというので、「共通」とか「全体」ということで書き上げてもいいかと思いますが。</p>

会長	<p>整理の流れとしては、基本機能があって、「窓口サービス」、「環境配慮」…という機能、ということなので、ユニバーサルデザインとかICTは、それ自体機能ではないと思います。機能をどういうふうに作っていくかという話なので、基本機能に並べてあるというのは、ちょっと違うかなと思います。どちらかという、基本方針のところでは表現していく方向で。</p> <p>以上を踏まえて基本方針として、どちらかという、基本方針のところでは横串で行くような部分について表現させていただくということで、「利用しやすく人や環境に優しい庁舎」、「防災拠点となる安全安心な庁舎」、「経済的で長寿命に配慮した庁舎」、「みんなが集い、支えるシンボリックな庁舎」としました。この基本方針というのは、基本構想の中で、各自治体の特色を表すような部分ということですが、こういった形でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>「防災」のところですが、なかなか新庁舎ということだと、どうしても災害時対応というところになってしまうのですが、今防災は、事前の備え、自助・共助が大切だということになっているので、なんとかそういうニュアンスを庁舎の機能として入れていくことができないかと思っています。なかなか入れにくいのですが、これだと発災時のことに特化しています。だから、もう少し普段から市民の皆さんも災害に対して備えて欲しいということが、庁舎の機能としてもあるような、そんな表現ができないかと思っています。</p>
会長	<p>防災ではなく、市民参画・協働の中にそういう表現ができると思います。防災のところは建物の話で、発災時に拠点となるという話なので、日頃からの住民思想、自助・共助を高めるという、そういう部分ですね。</p>
委員	<p>例えば、庁舎ではないのですが、名古屋大学に減災館というものができています。そこは、災害対策本部が常設で、いろいろな会議をするのですが、減災館の入り口が防災コーナーのようになっていて、市民の方に学んでいただくといった機能を持たせています。それは名古屋大学だからということももちろんある訳で、自治体とか国等と提携してやっていることなのですが、そういうことが入れられないかなと思います。</p>
会長	<p>形としてイメージできた範囲としては、そんなことまではこの中に書き込めませんが、こんなふうにできたらという理想のレベルでいって、新しい建物が建っていて、今の公園と駐車場が入れ替わって、駐車場の2階から正面の2階までが繋がって、前のスペースは公園になっていて、そこに仮設のトイレや住宅を建てられるように備えているようなイメージはありますが、防災について何らかの展示をする等は、無理かなと思います。</p>
事務局	<p>今のご意見ですが、大垣には赤坂の方に、防災センターというものがあまして、そういうところで、防災のものを備蓄したり、本来はそこで啓発的なことをするものとして整備しましたが、どちらかという、公民館的な機能となってしまっております。どちらかという、そのように機能分担した方がいいのではないかなと思うのですが。</p>

会長	大学で、特に工学部であれば、そういう展示もあり得ると思いますが、市庁舎でというのは難しいと思います。
委員	会長がおっしゃったオープンスペースの機能的な話は、それがイメージできるように入ってくるのでしょうか。
会長	それは書き込みようがありませんね。そこについてこの会議でどうするかは論じるのは難しいです。ですから、あくまで願望の範囲で申し上げているところですね。
委員	例えば、水門川との関係性という部分も、機能ではないのでしょうか。
会長	それは機能の一番下にあります。偶然ですが、商工会議所さんをお願いして、今年の秋に水都サミットというものを誘致するのですが、大阪が中心でやっています、今年は国土交通省がミズベリングという事業をやっていて、水辺を災害対策のための隔離された空間から、人々が集う、経済効果のある空間に作り直そうということをやっています。その国土交通省の課長さんの発表資料の中に、大垣の水門川の舟下りの写真も入れていただいています。そういうことも入れていきたいとは思いますが、どこまで書き込むかというのは、この会議を超えているところで、できればオープンスペースにして、川縁を再開発して、喫茶スペースがあって、川を見ながらお茶を飲むスペースが、休日も空いていたらいいなという願望はあります。その願望をどこまで表現できるのかというところだと思います。
委員	防災のところに、そういうことを想定した、いざというときに使えるような空間を持たせた防災設備というような表現で入れられそうな気がします。
会長	そもそも駐車場の位置をどこにしようかということを書けるかどうかとも疑わしいと思っていて、資料で頂戴した他所の基本構想でどれくらい踏み込んで書いているか見たのですが、その辺りは設計の話になってしまうので、この会議の話ではないのかなというところですよ。
委員	理念として、こういう想定はしていますというのがあれば、設計士に考慮いただけると思いますが、それは設計士に任せましようとなってしまうと、考慮いただけません。そういう理念や理想は、入れておいた方がいいと思います。
事務局	多分、南の方に駐車場ができると思っていて、大きな災害が起こればそういったところを活用するというのも想定されますので、駐車場を防災に配慮し、例えば地下にトイレがあるといった工夫をするといったことは、考えてもいいと思います。
会長	防災機能をこの一枚で書く訳ではないとおもいますので、機能を書き込む段階で、オープンスペースを作って、そこに地下トイレ等を作ったらどうか、駐車場と公園の代替関

	<p>係を作れば、それは可能なはずだということの書き込みとか、オープンスペースにするならその延長で、水辺との関係を整備したらどうかという書き込みをできる限りして、その書き込みがどこまで許されるかどうかというのは、他の市役所の関係を見ながら、市役所さんと調整したいと思います。あくまでも基本構想策定委員会なので、その枠内で許される範囲で書き込ませていただきます。ただ、水辺との関係は第1回からご意見を頂戴していますし、皆さんの意見として反映していけるとと思います。徐々に文言が決まっていく中で調整させていただくと思います。</p>
委員	<p>この基本構想案については、これを絶対に実現するというレベルなのか、あくまでも提案であって、我々は提案をするけど、実際に受け取られた大垣市さんがそれをどう採用されるかは大垣市さん次第となるかによっても変わってくると思います。ここに書いたことは必ずやるということになると、実現可能性も考えて、これは実現できるだろうということしか挙げられません。</p>
会長	<p>一般論としては分かりませんが、私が会長をさせていただいている限りは、基本的にまとめた内容はできる限りやっただき、できないことは書かないというスタンスで臨んでいます。そうでないと、結局何でも書いていいということになってしまって、意味がないですね。いろいろな人たちが勝手なことを言っているだけのペーパーになってしまいますので、皆さんから出た意見には配慮し、でも市としてはどこまで実現できるのかという応答関係の中で、「ここはある程度書いていいですね。」とまとめていけたらと思います。ある程度本気でやっていただくという内容でまとめさせていただければと思います。</p>
事務局	<p>あとは、表現が吸収のしどころかと思ひまして、例えば、自信のないところでは「努める」だとか「検討する」とかいった表現を使いながらまとめていきたいと思っております。</p>
会長	<p>そういうこともあるかもしれませんが、それほど漠然とした事業とかでなく、建物を建てるという話ですので、具体的にできるかできないかは、はっきりした話だと思います。なるべく責任を持った形で、言いつ放しにすることなく、できることをお願いして、具体的に形にするということがこの会議の役割だと思いますから、できることを意識しつつ、確実に形にするということで、議論していただければと思います。</p> <p>そういうことで、基本機能について、窓口サービスのところの文言と順番について、あとで調整をさせていただきますが、大枠は大体こういう内容ということで。あと、市民参画のところ、会議室等について入れていただき、ユニバーサルデザインのところは、市民参画に入れていただこうと思います。その上で、全体を横串にした基本方針、機能をどのように実現していくかという部分として、「利用しやすく人や環境に優しい庁舎」、「防災拠点となる安全安心な庁舎」、「経済的で長寿命に配慮した庁舎」、「みんなが集い、支えるシンボリックな庁舎」ということで。</p>

委員	一番下の基本方針の「みんなが集い」はいいとして、「支える」というのは、市民が市庁舎を支えるというイメージでしょうか。
事務局	おっしゃるとおり、皆さんで支えていただくという意味合いをメインとして考えております。
会長	「支える」というと、誰がどう支えるのか、市民の皆さんに支えていただくということですね。
委員	もう少し、「共同」とか、それくらいの言葉がいいと思います。
会長	「支え合う」くらいでしょうか。委員会だからいいかもしれませんが、市の方から市民に「支えろ」と言っているようになってしまいますし。
事務局	そうですね。
会長	最後に基本理念に戻ってきましたが、最初から決めないというのもありますが、一応決めた方がいいかと思います。最初にお示ししたのが「市民の集う庁舎」、それから「市民が集う庁舎」と「市民に親しまれる庁舎」で、「市民に親しまれる庁舎」の方が一般的だとは思いますが、市民参画・協働に踏み込んで、「集う」にしたいと思います。「の」と「が」については、正直議論してもしょうがないので、手を挙げてもらって決めるレベルだと思います。「が」よりは「の」の方がソフトだと思ってあげさせていただいているのですが。
委員	「が」だと、市民が主語になりますが、「の」だと庁舎の方がメインになりますので、「の」がいいと思います。
会長	他にご意見はありますか。「が」がいい方はいらっしゃいますか。
各委員	(一名の方が挙手)
会長	では、今日の結論としては、多数決で「市民の集う庁舎」とさせていただきます。基本理念、基本方針(案)については以上とさせていただきます、その他について事務局よりご説明願います。
事務局	では、次回の先進地視察にむけて、簡単に一宮市の概況をご説明させていただきます。お手元の封筒にあります資料をご覧ください。全部で4部配布してございます。まずA5サイズの小さい用紙をご覧ください。 日時は9月17日、市役所本庁舎北側車庫前に、集合は12時50分で、13時に出発予定でございます。

	<p>次に一宮市新庁舎のパフレットと、一枚概要を書いたものをご覧ください。</p> <p>新庁舎の完成は、今年の3月で、5月のゴールデンウィーク明けから業務を開始して見えます。現在は、旧庁舎の解体工事中で、この後、立体駐車場や広場整備などの工事が予定されております。</p> <p>建物は、鉄骨造を主とする複合構造で免震構造が採用されております。階数は、地上15階、地下1階建てでございます。敷地面積は、8,032㎡で、大垣市の現本庁舎の8,619㎡と比べますと、少し小さくなっております。1階の床面積にあたる建築面積は、2,300㎡で、こちらも大垣市より600㎡くらい狭いこととなります。延べ床面積は、31,140㎡で、大垣市の現在の3庁舎の合計面積、12,626㎡の約2.5倍となっております。</p> <p>基本理念といたしましては、便利でわかりやすく、市民に開かれた、安全・安心な環境にやさしい庁舎、となっております。</p> <p>その他詳しい内容につきましては、当日、一宮市のご担当者の方から説明を受けることとなっております。</p> <p>事前のご説明につきましては、以上とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>今のご説明につきまして、ご質問等ございますでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(質疑なし)</p>
<p>会長</p>	<p>では、これをもちまして、第3回新庁舎建設基本構想策定委員会を終了します。</p>